

# 病院プロフィールシート (八戸地域)

「地域医療構想の進め方について」平成30年2月7日付け医政地発0207第1号抜粋

## ①公立病院・・・新公立病院改革プラン

→民間医療機関との役割分担を踏まえ公立病院でなければ担えない分野へ重点化されているかどうかについて確認すること。

## ②公的医療機関等2025プラン対象医療機関・・・公的医療機関等2025プラン

→構想区域の医療需要や現状の病床稼働率等を踏まえ公的医療機関等2025プラン対象医療機関でなければ担えない分野へ重点化されているかどうかについて確認すること。

## ③その他医療機関・・・

→地域医療構想調整会議において、構想区域の診療実績や将来の医療需要の動向を踏まえて、遅くとも平成30年度末までに平成37(2025)年に向けた対応方針を協議すること。



地域医療構想を着実に進めるためには、各病院の機能や役割、今後の方向性等を関係者で共有することが必要であることから病院プロフィールシートの作成を提案

## 目次

1 八戸市立市民病院・・・	1	16 総合リハビリ美保野病院・・・	32
2 おいらせ病院・・・	3	17 八戸城北病院・・・	34
3 三戸中央病院・・・	5	18 湊病院・・・	36
4 五戸総合病院・・・	7	19 みちのく記念病院・・・	38
5 南部町医療センター・・・	9	20 八戸平和病院・・・	40
6 八戸赤十字病院・・・	11	21 石田温泉病院・・・	42
7 青森労災病院・・・	13	22 南部病院・・・	44
8 国立病院機構八戸病院・・・	16	23 内科種市病院・・・	46
9 はまなす医療療育センター・・・	18		
10 メディカルコート八戸西病院・・・	20		
11 於本病院・・・	22		
12 圭仁会病院・・・	24		
13 室岡整形外科記念病院・・・	26		
14 佐々木泌尿器科病院・・・	28		
15 岸原病院・・・	30		

# 病院プロフィールシート

病院名	八戸市立市民病院			
病床数				
平成 30 年度 病床機能報告 (H30.7.1 現在)	一般病床(A)		療養病床(B)	合計病床数 (A+B=a+b+c+d+e+f)
	572 床			572 床
	高度急性期(a)	急性期(b)	回復期(c)	慢性期(d)
	106 床	446 床	20 床	
	休棟中 (今後再開予定) (e)		休棟中 (今後廃止予定) (f)	
↓				
将来 (H37.7.1 現在)	一般病床(G)		療養病床(H)	合計病床数 (G+H=g+h+i+j+k+l+m)
	572 床			572 床
	高度急性期(g)	急性期(h)	回復期(i)	慢性期(j)
	106 床	446 床	20 床	
	休棟予定 (k)	廃止予定 (l)	介護保険施設等へ (m)	
<p>(病床機能報告の内容の考え方について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当院は、現在、7 病棟（主に特定入院料を算定している病棟）を高度急性期として報告しています。その他、9 病棟（急性期一般入院料 1）は急性期として報告しています。</li> <li>・月約 400 件の手術（内 全身麻酔の手術は 250 件程度）を実施しています。</li> <li>・救命救急センターを有する三次救急医療施設として、24 時間体制で重症患者を受け入れています。</li> </ul>				
平均在院日数 一般： 9.5 日			病床利用率 一般： 81.1%	
<p>診療科 合計 26 科（内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科、消化器外科）</p>				
主な紹介元医療機関	倉本クリニック	メディカルコート八戸西病院	丸山クリニック	
主な紹介先医療機関	メディカルコート八戸西病院	岸原病院	八戸赤十字病院	

## 病院プロフィールシート

<b>当病院の現状</b> (認定・指定の状況、主な患者像、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当院は地域の中核病院として、高度・急性期医療の提供を中心に、24 時間体制で住民の生命と健康の保持に努めるとともに、八戸圏域での医師派遣や臨床研修医の育成のほか、地域の病院・診療所等との連携を図るなど、地域医療全体のレベルアップに取り組んでいます。</li> <li>・ドクターヘリ及びドクターカーの運行を行い、地域の救急医療の充実に努めるほか、地域災害拠点病院として、大規模災害の被災地へ災害派遣医療チーム（DMAT）等を派遣しています。</li> <li>・救急患者の受け入れは年間約 2 万人、分娩件数は北日本トップクラスの年間約 1,400 件、手術件数は年間 4 千件を超えている状況です。</li> </ul>	
<b>当病院の未来像</b> (病床機能・病床数の見込み、施設への転換見込み、院舎建て替えの見込み、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療構想においては、現状と同様、八戸地域の中核病院は当院とされており、当院は高度急性期及び急性期医療機能の中心を担う役割であると認識しています。</li> <li>・病床が高い水準で稼働していることから、現時点での病床規模の見直しは考えていません。ただし、現在八戸地域に無い機能である緩和ケア病棟 20 床の増床を見込んでいます。</li> <li>・緩和ケア病棟の整備は、一般病棟との機能分化に繋がるとともに、在宅療養の後方支援病床としての効果も期待でき、がん対策の推進並びに地域包括ケアシステムの構築に寄与するものと考えています。</li> </ul>	
<b>在宅医療への取組状況</b> (現状及び今後の展望)	退院支援	専従及び専任の看護師と医療社会福祉士等が、患者と家族の希望に添った退院支援計画を立て、地域スタッフとも連携して退院支援に取り組んでいます。
	訪問診療	八戸市内において、総合診療内科が自宅 20 世帯前後、小児科が自宅 1 世帯の患者に対して訪問診療を行っています。
	後方支援	当院が訪問診療している患者の他に地域のクリニック、病院が担当する患者の病状が急変した際に、必要な受け入れを行っています。
	看取り	急性期病院のため状況に応じて対応しています。平成 31 年度中には緩和ケア病棟が開設される見込みです。

# 病院プロフィールシート

病院名	国民健康保険おいらせ病院			
病床数				
平成 30 年度 病床機能報告 (H30.7.1 現在)	一般病床(A)		療養病床(B)	合計病床数 (A+B=a+b+c+d+e+f)
	7 8			7 8
	高度急性期(a)	急性期(b)	回復期(c)	慢性期(d)
		7 4		
	休棟中 (今後再開予定) (e)		休棟中 (今後廃止予定) (f)	
			4	
↓				
将来 (H37.7.1 現在)	一般病床(G)		療養病床(H)	合計病床数 (G+H=g+h+i+j+k+l+m)
	6 0			6 0
	高度急性期(g)	急性期(h)	回復期(i)	慢性期(j)
		2 0	4 0	
	休棟予定 (k)	廃止予定 (l)	介護保険施設等へ (m)	
<p>(病床機能報告の内容の考え方について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当院は、現在、1 病棟（一般病棟 1 0 対 1 入院基本料）で急性期として報告しています。</li> <li>・おおよそ月 3 件の手術を実施しています。</li> <li>・救急告知病院として、月 1 5 件程度、救急車の受入れを行い、救急医療を実施しています。</li> <li>・将来的には、少子高齢化より、回復期相当の患者の増加を見込んでおり、回復期へ転換する予定としています。</li> </ul>				
平均在院日数 一般：2 2 . 4 日			病床利用率 一般：6 2 . 2 %	
診療科 合計 6 科 (内科、外科、整形外科、小児科、皮膚科、脳神経外科)				
主な紹介元医療機関	八戸市立市民病院	八戸赤十字病院	この医院	
主な紹介先医療機関	八戸市立市民病院	八戸赤十字病院	三沢市立三沢病院	

## 病院プロフィールシート

<b>当病院の現状</b> (認定・指定の状況、主な患者像、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療に力を入れており、町内の医療機関及び近隣の介護・老人福祉施設との連携により、施設からの患者の受け入れや訪問診療の充実を図っています。また、地域包括ケア病床を平成29年度以降5床ずつ増床しており、リハビリを中心とした在宅復帰への体制を強化しています。</li> <li>・医療圏の中核病院等との連携強化により、急性期患者の転送と急性期後の受け入れ、診療応援体制など、広域医療の充実を図っています。</li> </ul>	
<b>当病院の未来像</b> (病床機能・病床数の見込み、施設への転換見込み、院舎建て替えの見込み、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、病床機能報告では、病床の医療機能を全て急性期として報告していますが、回復期相当の患者も相当数入院しており、また将来の回復期の医療需要の増加見込みを踏まえ、地域包括ケア病床を中心に、急性期から回復期への病床機能変更を進め、病床利用率の安定化と効率的かつ効果的な医療体制の構築を図り、在宅復帰した患者の訪問診療と訪問看護を推進し、高齢者医療を中心とする地域病院としての役割を担っていきます。</li> </ul>	
<b>在宅医療への取組状況</b> (現状及び今後の展望)	退院支援	平成31年度から地域連携室を設置し、専任の看護師を中心に、ご家族の希望に添った退院計画を立て、的確な退院支援に取り組んでいきます。
	訪問診療	介護施設5施設(25人)、自宅33人の患者に対して、訪問診療を行っています。
	後方支援	当院が訪問診療している患者のほかに、介護施設等の利用者の発病時や病状の急変時に必要な受け入れを行っています。
	看取り	患者家族の要望は少ないが、対応を考えていきたい。

# 病院プロフィールシート

病院名	三戸町国民健康保険三戸中央病院			
病床数				
平成 30 年度 病床機能報告 (H30.7.1 現在)	一般病床(A)		療養病床(B)	合計病床数 (A+B=a+b+c+d+e+f)
	1 0 3		3 9	1 4 2
	高度急性期(a)	急性期(b)	回復期(c)	慢性期(d)
		4 9	3 9	
	休棟中 (今後再開予定) (e)		休棟中 (今後廃止予定) (f)	
	5 4			
↓				
将来 (H37.7.1 現在)	一般病床(G)		療養病床(H)	合計病床数 (G+H=g+h+i+j+k+l+m)
	1 0 3		3 9	1 4 2
	高度急性期(g)	急性期(h)	回復期(i)	慢性期(j)
		4 9	3 9	
	休棟予定 (k)		廃止予定 (l)	
	5 4			
<p>(病床機能報告の内容の考え方について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当院は、現在、急性期（急性期一般入院料 6）1 病棟、回復期（療養病棟入院基本料 1）1 病棟を有しています。</li> <li>・療養病棟入院基本料の届出を行っている 3 9 床のうち、1 0 床で地域包括ケア入院医療管理料 2 の届出を行っています。</li> <li>・今後の高齢化の進行及び高齢者人口の増加に伴う回復期医療の需要増加見込みにより、平成 3 0 年 1 0 月に、地域包括ケア病床を 1 0 床から 2 0 床へ増床しています。</li> </ul>				
平均在院日数 一般：1 4. 4 日		病床利用率 一般：8 4. 6 % 療養：8 9. 2 %		
診療科 合計 1 0 科（内科、整形外科、外科、小児科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、循環器科）				
主な紹介元医療機関	田子診療所	八戸市立市民病院	八戸赤十字病院	
主な紹介先医療機関	八戸市立市民病院	八戸赤十字病院	岩手県立二戸病院	

## 病院プロフィールシート

<b>当病院の現状</b> (認定・指定の状況、主な患者像、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急告示病院の指定を受け、24時間体制で三戸町町内及び近隣地区の救急患者の受入れを行っています。また、町内に無医地区が存在することからへき地医療拠点病院の指定を受けています。</li> <li>・内科を中心に幅広い疾患の患者を受け入れしています。また、特に、高齢者が多いことから、慢性疾患の治療、看取りにも対応しています。</li> <li>・近隣病院と連携し、高度な医療を必要とする急性期の患者については、より高度な医療機能を有する八戸市民病院等に紹介し、回復期となった際の受入れを行っています。</li> <li>・地域に密着した身近な病院を目指し、訪問診療（巡回診療含む）、訪問看護、訪問リハビリテーションを実施し、在宅医療に力を入れています。また、介護施設への訪問診療、介護施設からの患者の受入れを行っています。</li> </ul>	
<b>当病院の未来像</b> (病床機能・病床数の見込み、施設への転換見込み、院舎建て替えの見込み、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・へき地医療拠点病院として、地域医療を守るため、出来る限り現在の医療体制を維持していきたいと考えています。</li> <li>・急性期病床は、救急体制の維持のためにも現状維持を考えています。</li> <li>・高齢化の進行及び高齢者数の増加により、今後も回復期の医療需要の増加が見込まれています。</li> <li>・現在休床となっている病床の利用については、現段階では未定です。</li> <li>・人口減少に伴い、民間の診療所が減少していることから、地域医療を守るための当院の役割は増加していくものと考えています。</li> </ul>	
<b>在宅医療への取組状況</b> (現状及び今後の展望)	退院支援	専任の看護師と社会福祉士が連携し、ご家族の希望に添った退院計画を立て、適切な支援を行っています。
	訪問診療	三戸町、南部町内において介護施設4施設50名、居宅14名の患者に対して訪問診療を行っています。
	後方支援	田子診療所が担当する患者の病状が急変した際に、必要な受入れを行っています。
	看取り	患家の求めに応じ、院内で作成したマニュアルに基づき、適切な対応を行っています。

# 病院プロフィールシート

病院名	国民健康保険 五戸総合病院				
病床数					
平成 30 年度 病床機能報告 (H30.7.1 現在)	一般病床(A)		療養病床(B)	合計病床数 (A+B=a+b+c+d+e+f)	
	1 6 7			1 6 7	
	高度急性期(a)	急性期(b)	回復期(c)	慢性期(d)	
		1 6 7			
	休棟中 (今後再開予定) (e)		休棟中 (今後廃止予定) (f)		
↓					
将来 (H37.7.1 現在)	一般病床(G)		療養病床(H)	合計病床数 (G+H=g+h+i+j+k+l+m)	
	1 6 7			1 6 7	
	高度急性期(g)	急性期(h)	回復期(i)	慢性期(j)	
		1 6 7			
	休棟予定 (k)	廃止予定 (l)	介護保険施設等へ (m)		
<p>(病床機能報告の内容の考え方について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当院は、現在、3 病棟 (いずれも一般病棟 10 対 1 入院基本料) 全てを急性期として報告しています。</li> <li>・おおよそ月 27 件の手術 (内 全身麻酔の手術は月 9 件程度) を実施しています。</li> <li>・救急告示病院として二次救急医療を担い、月 230 件程度の時間外救急患者の受入れ、月 20 件程度の救急車の受入れを行い、救急医療を実施しています。</li> <li>・将来的には、病床規模・機能ともに現状維持の予定です。</li> </ul>					
平均在院日数 一般：14.8 日			病床利用率 一般：64.9 %		
診療科 合計 9 科 (内科・外科・産婦人科・眼科・小児科・耳鼻咽喉科・整形外科・脳神経外科・皮膚科)					
主な紹介元医療機関	八戸市民病院	八戸赤十字病院	田中医院		
主な紹介先医療機関	八戸市民病院	八戸赤十字病院	南部クリニック		



## 病院プロフィールシート

<b>当病院の現状</b> (認定・指定の状況、主な患者像、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当院は、五戸地方の地域医療を担うとともに、町内唯一の病院として二次救急医療を提供しています。</li> <li>・近年、受診する患者層の多くは高齢者であり、内科中心の診療体制を維持提供するとともに、地域の民間医療機関では担えない不採算医療機関では限界のある高度・先進医療を提供しています。</li> </ul>	
<b>当病院の未来像</b> (病床機能・病床数の見込み、施設への転換見込み、院舎建て替えの見込み、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、病床がある一定の高い水準で稼働していることから、現時点の病床機能報告では、病床規模（167床）・病床機能（急性期）共に現状維持としています。</li> <li>・しかしながら、中核病院との連携を進めつつ、高齢化や人口減少等による病床稼働率等を踏まえた上で、病床規模の縮小、急性期から回復期への病床機能の転換を検討していく予定です。</li> </ul>	
<b>在宅医療への取組状況</b> (現状及び今後の展望)	退院支援	専任の看護師と社会福祉士などが連携し、ご家族の希望に添った退院計画を立て、的確な退院支援に取り組んでいます。
	訪問診療	五戸町内において、介護施設2施設、自宅20世帯（20人）の患者に対して訪問診療を行っています。
	後方支援	当院が訪問診療している患者のほかに地域のクリニックが担当する患者の病状が急変した際に、必要な受入れを行っています。
	看取り	患家の求めに応じ、積極的に対応していきたいと考えています。

# 病院プロフィールシート

病院名	国民健康保険 南部町医療センター			
病床数				
平成 30 年度 病床機能報告 (H30.7.1 現在)	一般病床(A)		療養病床(B)	合計病床数 (A+B=a+b+c+d+e+f)
	26 床		40 床	66 床
	高度急性期(a)	急性期(b)	回復期(c)	慢性期(d)
		26 床		40 床
	休棟中 (今後再開予定) (e)		休棟中 (今後廃止予定) (f)	
↓				
将来 (H37.7.1 現在)	一般病床(G)		療養病床(H)	合計病床数 (G+H=g+h+i+j+k+l+m)
	26 床		40 床	66 床
	高度急性期(g)	急性期(h)	回復期(i)	慢性期(j)
		26 床		40 床
	休棟予定 (k)	廃止予定 (l)	介護保険施設等へ (m)	
平均在院日数 一般：19.0 日			病床利用率 一般：83.1%  療養：91.2%	
診療科 合計 10 科 (内科、外科、循環器内科、小児科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、アレルギー科、肛門外科、眼科)				
主な紹介元医療機関	ナンプクリニック	川守田外科胃腸科	かわむら内科クリニック	
主な紹介先医療機関	八戸赤十字病院	八戸市民病院	青森労災病院	

## 病院プロフィールシート

<b>当病院の現状</b> (認定・指定の状況、主な患者像、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問看護部門を設置し、在宅医療にも力を入れており、在宅（居宅）や介護施設からの患者を受け入れ、地域に密着した幅広い医療を提供しています。</li> <li>・地域の身近な病院であることを目指し、町内にある開業の先生方との病診連携、より高度な医療機能を有する病院との連携、更には介護施設との連携に力を入れています。</li> </ul>	
<b>当病院の未来像</b> (病床機能・病床数の見込み、施設への転換見込み、院舎建て替えの見込み、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、病床機能報告では、一般病床は医療機能を急性期、療養病床は慢性期と報告しています。</li> <li>・病床が高い水準で稼働していることから、現在の稼働率を維持していくことが最優先としていることから、現時点での病床規模の見直しは考えていません。</li> </ul>	
<b>在宅医療への取組状況</b> (現状及び今後の展望)	退院支援	看護師と社会福祉士などと連携し、ご家族の希望に添った退院計画を立てて、家族、本人の意思を尊重した退院支援に取り組んでいます。
	訪問診療	町内において、介護施設（5施設46人）、自宅30世帯（30人）の患者に対して訪問診療を行っています。
	後方支援	当院が訪問診療している患者のほかに地域のクリニックが担当する患者の病状が急変した際に、必要な受け入れを行っています。
	看取り	患者及びその家族の求めに応じ、積極的に対応していきたいと考えています。

# 病院プロフィールシート

病院名	八戸赤十字病院			
病床数				
平成 30 年度 病床機能報告 (H30.7.1 現在)	一般病床(A)		療養病床(B)	合計病床数 (A+B=a+b+c+d+e+f)
	374			374
	高度急性期(a)	急性期(b)	回復期(c)	慢性期(d)
	8	366		
	休棟中 (今後再開予定) (e)		休棟中 (今後廃止予定) (f)	
↓				
将来 (H37.7.1 現在)	一般病床(G)		療養病床(H)	合計病床数 (G+H=g+h+i+j+k+l+m)
	374			374
	高度急性期(g)	急性期(h)	回復期(i)	慢性期(j)
	12	362		
	休棟予定 (k)	廃止予定 (l)	介護保険施設等へ (m)	
<p>(病床機能報告の内容の考え方について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当院は、現在、8 病棟 (いずれも一般病棟 7 対 1 入院基本料) を全て急性期として報告しています。</li> <li>・おおよそ月 570 件の手術 (内 全身麻酔の手術は 180 件程度) を実施しています。</li> <li>・救急告示病院として二次輪番制に参加し、月 260 件程度、救急車の受入れを行い、救急医療を実施しています。</li> <li>・将来的には、当地域は県内唯一、医療計画上の基準病床数を下回る地域であり、医療機能区分では、急性期と慢性期が過剰、高度急性期と回復期が不足する見込みとなっています。当院では、高度急性期機能の患者に該当する医療資源投入量 3,000 点以上の患者が、年間約 5,000 人 (H28 年度) 入院している状況となっていることを鑑み、現在の高度急性期病床数 8 床を 4 床増床して 12 床とする予定としています。これにより、地域の中核病院である八戸市立市民病院の高度急性期・急性期機能の補完を図って、地域医療の充実に努めていきたいと考えています。</li> </ul>				
平均在院日数 一般 :		12.5 日	病床利用率 一般 : 77.9%	
診療科 合計 26 科 ( 内科、小児科、外科、精神科、泌尿器科、産婦人科等 )				
主な紹介元医療機関	岩手医科大学	伊藤整形外科・スポーツクリニック	メデ・イカルコート八戸西病院	
主な紹介先医療機関	メデ・イカルコート八戸西病院	伊藤整形外科・スポーツクリニック	岩手医科大学	

## 病院プロフィールシート

<b>当病院の現状</b> (認定・指定の状況、主な患者像、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療支援病院として、開業医の先生方との病診連携、より高度な医療機能を有する病院や後方支援病院との病病連携に力を入れています。</li> <li>・救急告示病院として二次輪番制に参加し、年間約 3,000 件の救急車搬送と約 7,500 人の救急患者を受け入れています。また、精神科の救急を地域の総合病院で唯一実施しています。</li> <li>・脳卒中センターを開設して脳卒中患者の 24 時間・365 日受入を実施しています。また、血液内科は地域のシェア率 7 割で、地域の血液疾患治療を支えています。</li> <li>・へき地等医療提供について、整形外科が週 1 回田子地域の診療応援を行っています。</li> <li>・赤十字の医療機関として、災害時の医療救護活動を積極的に行っています。</li> </ul>	
<b>当病院の未来像</b> (病床機能・病床数の見込み、施設への転換見込み、院舎建て替えの見込み、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、病床機能報告では病床の機能報告を全て急性期として報告しています。当院は、地域の中核病院である八戸市立市民病院に次ぐ患者数を診療する地域支援病院として、また八戸市立市民病院の診療を補完する病院として、引き続き急性期医療に取り組んでいく予定です。なお、高度急性期病床が不足する見込みであることから急性期病床の一部を高度急性期病床へ転換する予定としています。</li> <li>・地域の 3 総合病院（当院・八戸市立市民病院・青森労災病院）の機能分化・連携と棲み分けについて調整が図られ、効率的な地域医療が行われるようにしていきたいと考えます。</li> </ul>	
<b>在宅医療への取組状況</b> (現状及び今後の展望)	退院支援	入院支援センターを設置し、地域医療連携課と連携しながら的確な退院・転院計画を立案して支援しています。
	訪問診療	訪問診療については、現在行っておりません。また、今後行う予定はありません。
	後方支援	地域のクリニックが担当する患者の病状が急変した際には、必要に応じて受入れを行っています。
	看取り	単なる看取りについては、積極的な対応は考えていません。

# 病院プロフィールシート

病院名	独立行政法人労働者健康安全機構 青森労災病院			
病床数				
平成 30 年度 病床機能報告 (H30.7.1 現在)	一般病床(A)		療養病床(B)	合計病床数 (A+B=a+b+c+d+e+f)
	4 6 8 床		0 床	4 6 8 床
	高度急性期(a)	急性期(b)	回復期(c)	慢性期(d)
	6 床	2 0 1 床	4 7 床	4 6 床
	休棟中 (今後再開予定) (e)		休棟中 (今後廃止予定) (f)	
	1 6 8 床		0 床	
↓				
将来 (H37.7.1 現在)	一般病床(G)		療養病床(H)	合計病床数 (G+H=g+h+i+j+k+l+m)
	4 6 8 床		0 床	4 6 8 床
	高度急性期(g)	急性期(h)	回復期(i)	慢性期(j)
	6 床	3 1 5 床	4 7 床	4 6 床
	休棟予定 (k)	廃止予定 (l)	介護保険施設等へ (m)	
	5 4 床	0 床	0 床	
<p>(病床機能報告の内容の考え方について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当院は、現在稼働 7 病棟 2 8 0 床 (高度急性期 1 病棟 6 床 (急性期一般入院料 1)、急性期 4 病棟 2 0 1 床 (急性期一般入院料 1)、回復期 1 病棟 4 7 床 (地域包括ケア病棟入院料 2)、慢性期 1 病棟 2 6 床 (障害者施設等 1 0 対 1 入院基本料)) で高度急性期、急性期、回復期、慢性期を併せ持つケアミックス型病院として報告しています。</li> <li>・平成 3 0 年 9 月累計で月 1 6 7 件の手術 (全身麻酔の手術件数は 7 7 件) を実施しています。</li> <li>・救急告知病院として八戸市救急医療施設病院群輪番制に参加しており、月 1 0 3 件の救急車の受入れを行い、救急医療を実施しています。</li> <li>・将来的には、医師の確保を図ったうえで、急性期 3 病棟 1 1 4 床、慢性期 2 0 床の診療を再開させたいと考えています。</li> </ul>				
平均在院日数 一般 : 1 6 . 1 日		病床利用率 一般 : 4 6 . 5 %		
診療科 合計 1 8 科 (内科、神経科、循環器科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、歯科口腔外科)				

## 病院プロフィールシート

主な紹介元医療機関	八戸市総合健診センター	きどクリニック	丸山クリニック
主な紹介先医療機関	八戸市立市民病院	きどクリニック	和田整形外科クリニック
当病院の現状 (認定・指定の状況、主な患者像、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当院は、八戸市救急医療施設病院群輪番制に参加し、第2・4金曜日と休日の昼夜間など平成30年度は年間88日の輪番日を担当しており、平成30年1月～6月の八戸市の救急搬送件数のうち約8.2%の患者数を当院が占めています。</li> <li>・一般病棟の他に高度急性期病棟(6床)や地域包括ケア病棟(47床)及び障害者病棟(26床)を有しており、急性期ケアミックス型病院として地域医療を担っています。近隣病院では地域包括ケア病棟と障害者病棟を有しておらず、さらに心臓血管外科の設置により、青森県南から岩手県北地域の高度急性期医療のニーズにも対応しています。</li> <li>・整形外科では、スポーツドクターによるスポーツ専門外来を週2日設置しており、スポーツ外傷・障害のほか、膝関節疾患や肩関節疾患の診療を行っています。</li> <li>・消化器内科では、内視鏡やエコー、CT、MRI等の機器を駆使し、早期がんの発見などの確な診断に努めており、外科や放射線科との連携により、カンサーボードで患者の病態に最も適した治療法の検討を行っています。</li> <li>・平成29年度に低被ばくで高画質を特徴としたCT機器に更新しました。</li> <li>・地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携の強化や入院支援の充実及び紹介・逆紹介率の向上を図るとともに、地域がん診療連携推進病院としてがん患者への診察・相談等の機能強化を図っています。</li> <li>・青森県南地域では当院が唯一の糖尿病内分泌センター・心臓血管外科・歯科口腔外科の治療及び手術の機能を持つことから、青森県の短命県返上政策である生活習慣病のニーズへの対応や、心臓手術及び周術期の医科歯科連携など幅広い役割を担っています。</li> <li>・治療就労両立支援部では「がん」及び「糖尿病」の治療における患者への相談や支援の充実を図っています。</li> <li>・地域の医療機関との意見交換の機会として青森労災病院交流会を設け、地域のニーズに柔軟に対応できるよう努めています。</li> </ul>		

## 病院プロフィールシート

<b>当病院の未来像</b> (病床機能・病床数の見込み、施設への転換見込み、院舎建て替えの見込み、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療支援病院として、地域の医療機関が求める情報を発信しつつ、連携の強化を図るとともに、地域のニーズに合う医療を担ってまいります。</li> <li>・青森県地域がん診療連携推進病院として、診療・相談・研修等の機能を強化し、地域における役割を果たしてまいります。</li> <li>・当地域において、当院は八戸市立市民病院、八戸赤十字病院に次いで救急車の受入れ件数が多い施設です。今後は、課題である医師の充足確保に引き続き努めるとともに、二次救急医療施設として、地域の救急医療における役割を十分果たすことが出来る体制を強化します。</li> <li>・青森県の短命県返上を期した生活習慣病対策の一環として、生活習慣病センターの活動を推進するとともに、生活習慣病センターによる院内連携を前提として、幅広く肺炎や脳梗塞などの一般内科救急患者の受入れを強化します。</li> <li>・整形外科の脊椎外来やスポーツ外来など、地域の需要に見合った専門外来の強化を行います。</li> <li>・一般病棟、地域包括ケア病棟、障害者病棟を併せ持つコンパクトな急性期ケアミックス型病院として、前方及び後方連携をさらに強化します。</li> <li>・治療就労両立支援部での「糖尿病」及び「がん」患者の治療と就労の両立支援を継続するとともに、相談窓口を設置して治療就労両立支援のバックアップをしていきます。</li> </ul>	
<b>在宅医療への取組状況</b> (現状及び今後の展望)	退院支援	専任の退院調整看護師が退院支援に取り組んでいます。
	訪問診療	体制が整わないため実施していません。
	後方支援	地域のクリニックや介護施設、訪問看護ステーション等への在宅療養、訪問看護の指示を行い、患者急変時等には求めに応じ受入れを行っています。
	看取り	訪問診療同様、体制が整わないため実施していません。





# 病院プロフィールシート

病院名	独立行政法人国立病院機構八戸病院			
病床数				
平成 30 年度 病床機能報告 (H30.7.1 現在)	一般病床(A)		療養病床(B)	合計病床数 (A+B=a+b+c+d+e+f)
	150床			
	高度急性期(a)	急性期(b)	回復期(c)	慢性期(d)
				150床
	休棟中(今後再開予定)(e)		休棟中(今後廃止予定)(f)	
↓				
将来 (H37.7.1 現在)	一般病床(G)		療養病床(H)	合計病床数 (G+H=g+h+i+j+k+l+m)
	150床			
	高度急性期(g)	急性期(h)	回復期(i)	慢性期(j)
				150床
	休棟予定(k)	廃止予定(l)	介護保険施設等へ(m)	
<p>(病床機能報告の内容の考え方について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当院は現在3病棟(いずれも障害者施設等入院基本料7対1)すべてを慢性期機能病床として報告しています。</li> <li>・ほぼ満床で運用しており、将来的にも慢性期機能病床として150床で現状維持で運営していく考えです。</li> </ul>				
平均在院日数 一般: 2,065.3日			病床利用率 一般: 99.9%	
診療科 合計 5科(内科、神経内科、小児科、リハビリテーション科、循環器内科)				
主な紹介元医療機関	八戸市立市民病院	八戸赤十字病院	はまなす医療療育センター	
主な紹介先医療機関	八戸市立市民病院	みちのく病院		

## 病院プロフィールシート

<b>当病院の現状</b> (認定・指定の状況、主な患者像、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当院は、重症心身障害児（者）、脳卒中・神経難病リハビリテーション等の医療を担っている。</li> <li>・当院で収容する重症心身障害児（者）は、超重症や重度の肢体不自由と高度な知的障害を重複する者が多く、医師、看護師等が一体となった重症心身障害児（者）医療の提供とともに、療育面の充実も図り、地域のニーズに答えている。</li> <li>・昭和45年には地域の要望により脳卒中・神経難病リハビリテーション病棟を開設し、医学的リハビリテーションの二次的医療を行い、機能訓練設備の充実を図り、入院患者の機能回復のほか、退院後の生活指導や外来患者の機能訓練を行っている。</li> </ul>	
<b>当病院の未来像</b> (病床機能・病床数の見込み、施設への転換見込み、院舎建て替えの見込み、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の病床利用率は、ほぼ100%に近い状況であり、必要性が充分に見込まれるため、機能及び病床数は現状を維持する。</li> <li>病棟は平成26年に建替を完了し、今後、外来管理治療棟の建替を検討中である。</li> </ul>	
<b>在宅医療への取組状況</b> (現状及び今後の展望)	退院支援	平成16年に地域医療連携室を設置し、公的医療機関等と連携しながら、家族の希望に添えるよう取り組んでおり、今後も継続していく。
	訪問診療	現在、地域ニーズに応えるため、月4件程度の看護師による訪問を実施しており、体制を整備中である。
	後方支援	ほぼ満床を維持しており、現状及び今後においても対応は困難。
	看取り	ほぼ満床を維持しており、現状及び今後においても対応は困難。

# 病院プロフィールシート

病院名	青森県立はまなす医療療育センター				
病床数					
平成 30 年度 病床機能報告 (H30.7.1 現在)	一般病床(A)		療養病床(B)	合計病床数 (A+B=a+b+c+d+e+f)	
	82			82	
	高度急性期(a)	急性期(b)	回復期(c)	慢性期(d)	
			42	40	
	休棟中 (今後再開予定) (e)		休棟中 (今後廃止予定) (f)		
↓					
将来 (H37.7.1 現在)	一般病床(G)		療養病床(H)	合計病床数 (G+H=g+h+i+j+k+l+m)	
	82			82	
	高度急性期(g)	急性期(h)	回復期(i)	慢性期(j)	
			42	40	
	休棟予定 (k)		廃止予定 (l) 介護保険施設等へ (m)		
<p>(病床機能報告の内容の考え方について)</p> <p>・当院は、現在、医療型障害児入所施設・療養介護（肢体不自由児・者）42 床（回復期）と医療型障害児入所施設・療養介護（重症心身障害児・者）40 床（慢性期）の 2 病棟（いずれも一般病棟 10：1 障害者施設等入院基本料）として報告しています。</p>					
平均在院日数 一般：123			病床利用率 一般：75.6%		
診療科 合計 3 科（整形外科・小児科・リハビリテーション科）					
主な紹介元医療機関	八戸市立市民病院	青森労災病院			
主な紹介先医療機関	八戸市立市民病院	青森労災病院			

## 病院プロフィールシート

<b>当病院の現状</b> (認定・指定の状況、主な患者像、地域の役割等)	当施設は、児童福祉法に規定される医療型障害児入所施設及び医療型児童発達支援センター、また障害者総合支援法に規定される療養介護、生活介護及び短期入所を行うと共に、医療法による病院として、小児リハビリテーションを中心に小児整形外科疾患や障害児の小児科治療を行っています。地域活動として、県南の保健所で赤ちゃんの運動発達の診察や療育相談を行い、必要に応じて家庭訪問による療育指導を行います。医療機関や児童相談所と連携を取りながら、医療と福祉の支援を行っています。	
<b>当病院の未来像</b> (病床機能・病床数の見込み、施設への転換見込み、院舎建て替えの見込み、地域の役割等)	県内でも数少ない医療型障害児入所施設及び医療型児童発達支援センターとして、児童相談所等の関係機関や医療機関と連携をし、更に障害者福祉施設等と連携を図りながら障害児(者)への治療と支援を充実させるよう努めます。	
<b>在宅医療への取組状況</b> (現状及び今後の展望)	退院支援	看護師、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、児童指導員等が連携し、ご家族の希望に沿った退院計画を立て、的確な退院支援に取り組んでいます。
	訪問診療	必要に応じて自宅訪問や保育所等訪問支援を行っています。
	後方支援	他医療機関での術後児童患者を受入れ、術後リハビリテーションを行っています。
	看取り	

# 病院プロフィールシート

病院名	メディカルコート八戸西病院			
病床数				
平成 30 年度 病床機能報告 (H30.7.1 現在)	一般病床(A)		療養病床(B)	合計病床数 (A+B=a+b+c+d+e+f)
	199床			199床
	高度急性期(a)	急性期(b)	回復期(c)	慢性期(d)
		119床	80床	
	休棟中(今後再開予定)(e)		休棟中(今後廃止予定)(f)	
↓				
将来 (H37.7.1 現在)	一般病床(G)		療養病床(H)	合計病床数 (G+H=g+h+i+j+k+l+m)
	199床			199床
	高度急性期(g)	急性期(h)	回復期(i)	慢性期(j)
		119床	80床	
	休棟予定(k)	廃止予定(l)	介護保険施設等へ(m)	
<p>(病床機能報告の内容の考え方について)</p> <p>・当院は、現在、5病棟のうち3病棟(急性期一般入院料6、一部26床分を地域包括ケア入院医療管理料2)を急性期、2病棟(回復期リハビリテーション入院料1)を回復期として報告しています。</p> <p>・救急告知病院として二次輪番制に参加し、月8件程度の救急車の受け入れを行い、また休日、夜間、時間外においては月25名程度の患者を受け入れています。</p>				
平均在院日数 一般：19.8日			病床利用率 一般：91.2%	
<p>診療科 合計 11科(内科、循環器内科、神経内科、泌尿器科、婦人科、外科、整形外科、脳神経外科、眼科、皮膚科、リハビリテーション科)</p>				
主な紹介元医療機関	八戸市立市民病院	八戸赤十字病院	十和田市立中央病院	
主な紹介先医療機関	石田温泉病院	於本病院	みちのく記念病院	

## 病院プロフィールシート

<b>当病院の現状</b> (認定・指定の状況、主な患者像、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当院は高度急性期病院の後方支援病院として役割を担っております。急性期治療終了後のリハビリが必要な方や独居・老々介護の問題から直接自宅に戻れない方も受け入れ、退院支援をしています。</li> <li>・ 自宅や施設で発症した軽度急性期疾患、レスパイト入院等を受け入れるため、地域包括ケア病床（26床）を有しており、一時的な入院にも対応しております。</li> <li>・ 訪問リハビリテーション事業所を併設しており、医療から介護へのスムーズな移行を実現しております。</li> </ul>	
<b>当病院の未来像</b> (病床機能・病床数の見込み、施設への転換見込み、院舎建て替えの見込み、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在、病床機能報告では、5つある病棟のうち3病棟（119床）を急性期病棟、2病棟（80床）を回復期病棟として報告しており急性期病棟の一部を地域包括ケア病床（26床）として運用し、回復期病棟（回復期リハビリテーション病棟）は常時満床で利用されております。</li> <li>・ 各病床が高い水準で稼働しているため、現時点での病床見直しは考えておりませんが、在宅医療の充実を図り、地域包括ケア入院医療管理料2から管理料1へ施設基準を上げたいと考えております。</li> </ul>	
<b>在宅医療への取組状況</b> (現状及び今後の展望)	退院支援	病棟ごとに入退院支援業務に専従する看護師もしくは社会福祉士を配置し、ご家族の希望に添った退院支援を行っています。
	訪問診療	八戸市内において訪問リハビリ利用の方を対象に約20名の患者に対して訪問診療を行っています。
	後方支援	地域の介護施設の協力医療機関として、入所者急変の際には、必要な受け入れを行っています。
	看取り	患者のご家族の求めに応じて、適切に対応しております。また、地域の在宅医療を担うクリニック等からの相談にも対応していきたいと考えております。

# 病院プロフィールシート

病院名	医療法人 弘仁会 於本病院				
病床数					
平成 30 年度 病床機能報告 (H30.7.1 現在)	一般病床(A)		療養病床(B)	合計病床数 (A+B=a+b+c+d+e+f)	
			50 床	50 床	
	高度急性期(a)	急性期(b)	回復期(c)	慢性期(d)	
				50 床	
	休棟中 (今後再開予定) (e)		休棟中 (今後廃止予定) (f)		
↓					
将来 (H37.7.1 現在)	一般病床(G)		療養病床(H)	合計病床数 (G+H=g+h+i+j+k+l+m)	
			50 床	50 床	
	高度急性期(g)	急性期(h)	回復期(i)	慢性期(j)	
				50 床	
	休棟予定 (k)	廃止予定 (l)	介護保険施設等へ (m)		
<p>(病床機能報告の内容の考え方について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当院は、現在、50 床の医療療養病床 20 : 1 として報告しています。</li> <li>・将来的にも、50 床の医療療養病床 20 : 1 の予定です。</li> </ul>					
平均在院日数 一般 :			病床利用率 療養 : 97.4%		
診療科 合計 5 科 (内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科)					
主な紹介元医療機関	八戸市民病院	八戸西病院	東八戸病院		
主な紹介先医療機関	八戸市民病院	八戸赤十字病院	青森労災病院		



## 病院プロフィールシート

<b>当病院の現状</b> (認定・指定の状況、主な患者像、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当法人は、医療療養型病院（20：1）。病院に隣接して、デイサービスセンター（定員 26 名）。市の郊外にサービス付き高齢者住宅（17 室）を運営しています。</li> <li>・当院の病棟は医療療養型で、慢性期の患者を主に受け入れています。外来部門は、通常外来の他に、地域に密着した医療を提供しています。高齢者施設・障害者施設、自宅への訪問診療を行っている地域の訪問診療は、訪問看護事業所と連携し、24 時間体制で行っています。（月約 200 名）。また、青森県警察医として、被疑者健診・検案に協力していることです。（年間約 240 名）。</li> <li>・地域の身近な病院であることを目指し、高度な医療機能を有する病院との病病連携、更に介護施設との連携に力を入れています。</li> </ul>	
<b>当病院の未来像</b> (病床機能・病床数の見込み、施設への転換見込み、院舎建て替えの見込み、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当院は、今後も入院治療及び、在宅療養支援を中心に、地域に密着した慢性期の医療機関として機能していく考えです。</li> <li>・高齢となり、通院が困難となった場合に、在宅医療に安心して移行できるような支援を行い、患者本人やご家族の希望や必要性に応じ、<b>「時々入院、ほぼ在宅」</b>に向け貢献できるような体制を築いていきたいと考えています。</li> </ul>	
<b>在宅医療への取組状況</b> (現状及び今後の展望)	退院支援	地域連携室が中心となり、ご家族の希望に沿った退院計画を立て、的確な退院支援に取り組んでいます。
	訪問診療	自宅・高齢者施設・障害者施設の患者（月約 200 名）に対して、訪問診療を行っています。
	後方支援	当院が訪問診療している患者のほかに、地域のクリニックが担当する患者の症状が急変した際に、必要な受け入れをしたいと考えています。
	看取り	現在も、施設・住宅の看取りを行っています。今後も、患者及びご家族の求めに応じ、積極的に対応していきたいと考えています。

# 病院プロフィールシート

病院名	医療法人 昆仁会 圭仁会病院			
病床数				
平成 30 年度 病床機能報告 (H30.7.1 現在)	一般病床(A)		療養病床(B)	合計病床数 (A+B=a+b+c+d+e+f)
			4 5 床	4 5 床
	高度急性期(a)	急性期(b)	回復期(c)	慢性期(d)
				4 5 床
	休棟中 (今後再開予定) (e)		休棟中 (今後廃止予定) (f)	
↓				
将来 (H37.7.1 現在)	一般病床(G)		療養病床(H)	合計病床数 (G+H=g+h+i+j+k+l+m)
			4 5 床	4 5 床
	高度急性期(g)	急性期(h)	回復期(i)	慢性期(j)
				4 5 床
	休棟予定 (k)	廃止予定 (l)	介護保険施設等へ (m)	
(病床機能報告の内容の考え方について)				
<p>・当院は、現在 1 病棟（療養病棟 20 対 1 入院基本料）を慢性期として報告しています。</p>				
平均在院日数 (療養のみ)			病床利用率 療養 : 97.1%	
診療科 合計 1 科 (内科)				
主な紹介元医療機関	八戸西病院	八戸市立市民病院	_____	
主な紹介先医療機関	八戸市立市民病院	_____	_____	

## 病院プロフィールシート

<b>当病院の現状</b> (認定・指定の状況、主な患者像、地域の役割等)	・当院は、脳疾患後遺症、肺炎に罹患した患者様の入院が多くみられます。	
<b>当病院の未来像</b> (病床機能・病床数の見込み、施設への転換見込み、院舎建て替えの見込み、地域の役割等)	・現在、検討中です。	
<b>在宅医療への取組状況</b> (現状及び今後の展望)	退院支援	_____
	訪問診療	_____
	後方支援	_____
	看取り	対応しています。

# 病院プロフィールシート

病院名	室岡整形外科記念病院			
病床数	50			
平成 30 年度 病床機能報告 (H30.7.1 現在)	一般病床(A)		療養病床(B)	合計病床数 (A+B=a+b+c+d+e+f)
	50			50
	高度急性期(a)	急性期(b)	回復期(c)	慢性期(d)
		50		
	休棟中 (今後再開予定) (e)		休棟中 (今後廃止予定) (f)	
↓				
将来 (H37.7.1 現在)	一般病床(G)		療養病床(H)	合計病床数 (G+H=g+h+i+j+k+l+m)
	50			50
	高度急性期(g)	急性期(h)	回復期(i)	慢性期(j)
		50		
	休棟予定 (k)	廃止予定 (l)	介護保険施設等へ (m)	
<p>(病床機能報告の内容の考え方について)</p> <p>当院は現在、急性期機能として報告していますが、回復期よりの急性期機能です。</p> <p>年間約 190 件の手術を実施しております。</p> <p>年 75 件程度、救急車の受入を行い救急医療を実施しております。</p> <p>今後も、急性期機能を継続する予定としています。</p>				
平均在院日数 一般 : 38.6 日			病床利用率 一般 : 86.5%	
診療科 合計 3 科 (整形外科、リハビリテーション科、循環器内科)				
主な紹介元医療機関	八戸日赤病院	八戸市民病院	いとう整形外科	
主な紹介先医療機関	八戸日赤病院	八戸市民病院	いとう整形外科	

## 病院プロフィールシート

<b>当病院の現状</b> (認定・指定の状況、主な患者像、地域の役割等)	当院では最新機器 (MRI・超音波エコー装置・X線骨密度測定装置等) を駆使し、脊椎疾患・関節疾患・関節リウマチから外傷に至るまで対応し、徹底した保存療法・先進的な手術療法を提供しています。 リハビリテーションにも力をいれており、入院中の受傷 (発症) 直後の急性期から回復期に相当する患者様の保存的療法や、術前リハビリ、当院や他院で手術を受けられた患者様の術後リハビリテーション、外来通院の発症 (受傷) 直後の急性期から回復期、生活期 (維持期) に相当する患者様、当院・他院を退院された患者様のフォローアップを行っております。地域に密着したコミュニティーホスピタルを目指し、他院等との連携に力を入れています。	
<b>当病院の未来像</b> (病床機能・病床数の見込み、施設への転換見込み、院舎建て替えの見込み、地域の役割等)	現時点での病床機能・病床規模・施設への転換見込み等の見直しは考えておりません。	
<b>在宅医療への取組状況</b> (現状及び今後の展望)	退院支援	対応しておりません。今後検討していきます。
	訪問診療	対応しておりません。現時点では考えておりません。
	後方支援	対応しておりません。現時点では考えておりません。
	看取り	対応しておりません。現時点では考えておりません。

# 病院プロフィールシート

病院名	医療法人仁桂会 佐々木泌尿器科病院			
病床数				
平成 30 年度 病床機能報告 (H30.7.1 現在)	一般病床(A)		療養病床(B)	合計病床数 (A+B=a+b+c+d+e+f)
	44 床			44 床
	高度急性期(a)	急性期(b)	回復期(c)	慢性期(d)
				44 床
	休棟中 (今後再開予定) (e)		休棟中 (今後廃止予定) (f)	
↓				
将来 (H37.7.1 現在)	一般病床(G)		療養病床(H)	合計病床数 (G+H=g+h+i+j+k+l+m)
	30 床			30 床
	高度急性期(g)	急性期(h)	回復期(i)	慢性期(j)
				30 床
	休棟予定 (k)	廃止予定 (l)	介護保険施設等へ (m)	
(病床機能報告の内容の考え方について)				
<p>当院は、現在、1 病棟（地域一般入院料 3）を慢性期として報告しています。</p> <p>要介護、寝たきりの血液透析患者の受け入れを行っています。</p>				
平均在院日数 一般：39.7 日			病床利用率 一般：48.5%	
診療科 合計 4 科 (泌尿器科、内科、外科、肛門科)				
主な紹介元医療機関	八戸市立市民病院	八戸赤十字病院	青森労災病院	
主な紹介先医療機関	八戸市立市民病院	八戸赤十字病院	青森労災病院	

## 病院プロフィールシート

<b>当病院の現状</b> (認定・指定の状況、主な患者像、地域の役割等)	<p>健診で指摘された潜血、蛋白、eGFR、PSA 等の精査を行い、積極的加療（手術、放射線等）が必要な患者を紹介しています。</p> <p>寝たきり、要介護の血液透析患者を受け入れ、在宅では対応困難な患者に対応しています。</p> <p>泌尿器科専門病院として、開業の先生方との病診連携、より高度な医療機能を有する病院との連携、介護施設との連携に力を入れています。</p>	
<b>当病院の未来像</b> (病床機能・病床数の見込み、施設への転換見込み、院舎建て替えの見込み、地域の役割等)	<p>現在、病床機能報告では、病床の医療機能を全て慢性期として報告しています。今後も病床機能の変更は考えておりません。</p> <p>病床が低い稼働率で、入院患者数の減少もあり、病床数の見直しを検討しています。</p>	
<b>在宅医療への取組状況</b> (現状及び今後の展望)	退院支援	家族と看護師、ケアマネージャー等が連携し、希望に沿った計画を立て、退院支援を行っています。
	訪問診療	現在、訪問診療は行っていません。
	後方支援	在宅患者の急変時対応受け入れを行っています。
	看取り	現在、看取りは行っていません。

# 病院プロフィールシート

病院名	岸原病院				
病床数					
平成 30 年度 病床機能報告 (H30.7.1 現在)	一般病床(A)		療養病床(B)	合計病床数 (A+B=a+b+c+d+e+f)	
	4 2 床		4 8 床	9 0 床	
	高度急性期(a)	急性期(b)	回復期(c)	慢性期(d)	
			4 2 床	4 8 床	
	休棟中 (今後再開予定) (e)		休棟中 (今後廃止予定) (f)		
↓					
将来 (H37.7.1 現在)	一般病床(G)		療養病床(H)	合計病床数 (G+H=g+h+i+j+k+l+m)	
	4 2 床		4 8 床	9 0 床	
	高度急性期(g)	急性期(h)	回復期(i)	慢性期(j)	
			4 2 床	4 8 床	
	休棟予定 (k)	廃止予定 (l)	介護保険施設等へ (m)		
(病床機能報告の内容の考え方について)					
<p>当院は現在 2 病棟あり、一般病床は地域包括ケア病棟入院料 2、療養病床は療養病棟入院料 1 の届出をしております。将来的にも地域での回復期病床の必要性および施設等に対応の難しい中長期的に入院の必要な患者も見込まれることから、2 病棟とも病床機能は変更は予定しておりません。</p>					
平均在院日数 一般： 26.4 日			病床利用率 一般： 93.6 %		
			療養： 93.9 %		
診療科 合計 6 科 (内科、消化器科、循環器科、呼吸器科、神経内科、リハビリテーション科)					
主な紹介元医療機関	八戸市立市民病院	八戸赤十字病院	南郷診療所		
主な紹介先医療機関	八戸市立市民病院	八戸赤十字病院	ハートセンタークリニック		



## 病院プロフィールシート

<b>当病院の現状</b> (認定・指定の状況、主な患者像、地域の役割等)	昭和 55 年、一般病床 140 床で開院以来、平成 8 年には 54 床を療養型病床群に転換、平成 16 年には一般病床 10 床を亜急性期病床（回復期）として届出、平成 26 年からは一般病床 42 床は全床地域包括ケア病棟として届出しております。医療行政の変化に応じ病棟機能を変更し、病床数も削減してまいりました。現在は一般病床は地域包括ケア病棟として急性期病院からの患者の受入と在宅・施設で療養している患者さんの急性増悪時の受入の機能として、また療養病床は急・回復期経過後も医療的管理・処置の必要な患者や難病等に対応する病棟として運用しております。	
<b>当病院の未来像</b> (病床機能・病床数の見込み、施設への転換見込み、院舎建て替えの見込み、地域の役割等)	これからも地域において回復期病床の必要性があることから、一般病床は回復期病床として地域包括ケア病棟を維持していきます。また療養病床については、施設基準よりも多い看護師の配置をしており、慢性期病床として対象患者に対応していきます。	
<b>在宅医療への取組状況</b> (現状及び今後の展望)	退院支援	各病棟で退院支援担当者を選任し退院支援をしています。
	訪問診療	当院が訪問診療・訪問看護を提供している患者さんについては 24 時間連絡のとれる体制をとり、必要に応じ往診も行っております。
	後方支援	当院が訪問診療・訪問看護を提供している患者さんのほか連携している施設等の患者さんについても急変時の受入を行っています。
	看取り	患家の求めに応じ、随時対応しております。

# 病院プロフィールシート

病院名	医療法人 謙昌会 総合リハビリ美保野病院			
病床数				
平成 30 年度 病床機能報告 (H30.7.1 現在)	一般病床(A)		療養病床(B)	合計病床数 (A+B=a+b+c+d+e+f)
			123 床	123 床
	高度急性期(a)	急性期(b)	回復期(c)	慢性期(d)
			84 床	39 床
	休棟中 (今後再開予定) (e)		休棟中 (今後廃止予定) (f)	
↓				
将来 (H37.7.1 現在)	一般病床(G)		療養病床(H)	合計病床数 (G+H=g+h+i+j+k+l+m)
			123 床	123 床
	高度急性期(g)	急性期(h)	回復期(i)	慢性期(j)
			84 床	39 床
	休棟予定 (k)	廃止予定 (l)	介護保険施設等へ (m)	
<p>(病床機能報告の内容の考え方について)</p> <p>当院は、現在すべての 3 つの病棟が療養病床となっており、2 つの病棟 (84 床) は、現状のまま回復期リハビリテーション病棟での運用することとしています。介護療養型医療施設 (39 床) については 6 年後に廃止となることから医療療養病床 (慢性期) への転換する方向で検討しています。</p>				
平均在院日数 一般 :			病床利用率 療養 : 95.1 %	
診療科 合計 6 科 ( 内科 整形外科 リハビリテーション科 皮膚科 神経科 歯科 )				
主な紹介元医療機関	八戸市民病院	青森労災病院	八戸赤十字病院	
主な紹介先医療機関	青南病院	岸原病院	船越内科・外科	

## 病院プロフィールシート

<b>当病院の現状</b> (認定・指定の状況、主な患者像、地域の役割等)	当院は、リハビリテーションを中心とした回復期の患者の受け入れ入院から、在宅に戻ってからの外来通院リハビリの他、訪問看護による訪問リハビリ、通所リハビリ、通所介護等患者にあったサービス提供ができる体制を有しています。 また、開放型病床を通じてクリニックの先生方と病診連携にも力を入れています。 ISO9001:2015 認証	
<b>当病院の未来像</b> (病床機能・病床数の見込み、施設への転換見込み、院舎建て替えの見込み、地域の役割等)	今後、廃止となる介護療養型医療施設(39床)を医療療養病床に転換することとしています。医療療養病床転換後、慢性期から回復期の病床に転換することも含め検討しています。 病床数については稼働率を維持できていることから変更見直しは検討していません。	
<b>在宅医療への取組状況</b> (現状及び今後の展望)	退院支援	看護師・コメディカル・社会福祉士が協働し、ケアマネ等と連携を図りながら退院前訪問など支援を行っている
	訪問診療	現状、医師の退職等の不足により行っていない。体制が整い次第実施していく予定。
	後方支援	開放型病床を保有し、地域クリニックからの患者受け入れが可能。
	看取り	訪問診療の体制が整い次第、患者の求めに応じ実施していく予定。

# 病院プロフィールシート

病院名	医療法人社団豊仁会 八戸城北病院			
病床数				
平成 30 年度 病床機能報告 (H30.7.1 現在)	一般病床(A)		療養病床(B)	合計病床数 (A+B=a+b+c+d+e+f)
	60 床		46 床	106 床
	高度急性期(a)	急性期(b)	回復期(c)	慢性期(d)
			60 床	46 床
	休棟中 (今後再開予定) (e)		休棟中 (今後廃止予定) (f)	
↓				
将来 (H37.7.1 現在)	一般病床(G)		療養病床(H)	合計病床数 (G+H=g+h+i+j+k+l+m)
	60 床		46 床	106 床
	高度急性期(g)	急性期(h)	回復期(i)	慢性期(j)
			60 床	46 床
	休棟予定 (k)	廃止予定 (l)	介護保険施設等へ (m)	
<p>(病床機能報告の内容の考え方について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当院は、現在、地域一般入院料 3 (旧 15 対 1) 60 床、医療療養病床 I、33 床、及び介護療養型医療施設 I、13 床の届出をしています。</li> <li>・従来、病床機能報告では 15 対 1 入院基本料 60 床を急性期として報告してきましたが、今回の病床機能報告では回復期として報告しています。</li> <li>・将来的には、超少子高齢化社会に向けて地域において期待される医療機能を果たすために回復期機能と慢性期機能の医療に取り組み、地域完結型医療への医療連携を強化していく方針です。</li> </ul>				
平均在院日数 一般 : 50.1 日		病床利用率 一般 : 88.3%  療養 : 88.0%		
診療科 合計 8 科 (内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、外科他)				
主な紹介元医療機関	八戸赤十字病院	八戸市立市民病院	青森労災病院	
主な紹介先医療機関	八戸市立市民病院	八戸赤十字病院	青森労災病院	

## 病院プロフィールシート

<b>当病院の現状</b> (認定・指定の状況、主な患者像、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当院は急性期病院からの紹介患者や、福祉施設から医療が必要になった病状の患者層が多く、がん末期の緩和治療目的、脳梗塞やADL低下の入院患者が中心となっています。</li> <li>・当番医、二次輪番制に参加し、主に内科系を中心に救急医療を実施しています。</li> <li>・地域の身近な病院であることを目指し、病診連携や急性期病院との病病連携、また介護施設との連携にも注力しています。</li> </ul>	
<b>当病院の未来像</b> (病床機能・病床数の見込み、施設への転換見込み、院舎建て替えの見込み、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年まで病床機能報告では地域一般病床入院料 60 床を急性期として報告してきましたが、今回は回復期として報告しています。</li> <li>・国の施策による病床削減、将来の院舎の改修や建て替えなども検討していますが、民間病院としての経営的課題もあり現状では未来像を模索している段階です。今後は地域の他の医療機関の動向等を見ながら行政とも相談していきたいと考えています。</li> <li>・介護療養病床 13 床は、医療療養病床か介護医療院に転換する方向で検討している段階です。廊下幅と一人当たりの床面積の基準の詳細を市の介護保険課と相談しながら検討していきたいと考えています。</li> </ul>	
<b>在宅医療への取組状況</b> (現状及び今後の展望)	退院支援	専任の看護師が、ご家族の希望に添った退院計画を作成し、的確な退院支援に取り組んでいます。
	訪問診療	八戸市市内において住宅型有料老人ホーム 2 施設 (41 人) を、中心に在宅も含め訪問診療を行っています。
	後方支援	当院が訪問診療をしている患者の他に、地域の診療所の患者や施設の利用者の急変時の受け入れも対応しています。
	看取り	「人生の最終段階における医療・ケアに関する指針」に基づき療養病床を中心に看取りを実施しています。

# 病院プロフィールシート

病院名	医療法人清照会 湊病院			
病床数				
平成 30 年度 病床機能報告 (H30.7.1 現在)	一般病床(A)		療養病床(B)	合計病床数 (A+B=a+b+c+d+e+f)
			50 床	50
	高度急性期(a)	急性期(b)	回復期(c)	慢性期(d)
				50 床
	休棟中 (今後再開予定) (e)		休棟中 (今後廃止予定) (f)	
↓				
将来 (H37.7.1 現在)	一般病床(G)		療養病床(H)	合計病床数 (G+H=g+h+i+j+k+l+m)
				48 床
	高度急性期(g)	急性期(h)	回復期(i)	慢性期(j)
	休棟予定 (k)	廃止予定 (l)	介護保険施設等へ (m)	
			48 床	
(病床機能報告の内容の考え方について)				
<p>当院では、1 病棟（療養病棟入院基本料 2）50 床を報告しています。</p> <p>平成 31 年度に、介護医療院へ転換する予定です。</p>				
平均在院日数 一般：		病床利用率 療養：94.7%		
診療科 合計 8 科（内科、外科、消化器内科、泌尿器科、心療内科、精神科、 リハビリテーション科、歯科）				
主な紹介元医療機関	八戸赤十字病院	八戸市立市民病院	青森労災病院	
主な紹介先医療機関	八戸赤十字病院	八戸市立市民病院		

## 病院プロフィールシート

<b>当病院の現状</b> (認定・指定の状況、主な患者像、地域の役割等)	療養病床では、精神疾患（主に認知症、統合失調症）の治療に加え、内科的治療を必要とする患者様が多く入院しています。患者層の高齢化に伴い、平均在院日数は 261 日と、長期での入院となっています。	
<b>当病院の未来像</b> (病床機能・病床数の見込み、施設への転換見込み、院舎建て替えの見込み、地域の役割等)	平成 31 年度、療養病棟 50 床を返還し、介護医療院 48 床の開設を計画しています。大規模な改修工事の予定はありません。	
<b>在宅医療への取組状況</b> (現状及び今後の展望)	退院支援	看護師、精神保健福祉士等が連携し支援を行っています。
	訪問診療	
	後方支援	
	看取り	

# 病院プロフィールシート

病院名	医療法人 杏林会 みちのく記念病院			
病床数				
平成 30 年度 病床機能報告 (H30.7.1 現在)	一般病床(A)		療養病床(B)	合計病床数 (A+B=a+b+c+d+e+f)
	60 床		79 床	139 床
	高度急性期(a)	急性期(b)	回復期(c)	慢性期(d)
			60 床	
	休棟中 (今後再開予定) (e)		休棟中 (今後廃止予定) (f)	
	79 床			
↓				
将来 (H37.7.1 現在)	一般病床(G)		療養病床(H)	合計病床数 (G+H=g+h+i+j+k+l+m)
	60 床		79 床	139 床
	高度急性期(g)	急性期(h)	回復期(i)	慢性期(j)
			60 床	79 床
	休棟予定 (k)	廃止予定 (l)	介護保険施設等へ (m)	
(病床機能報告の内容の考え方について)				
<p>・当院は現在 1 病棟 60 床のうち 40 床を（一般病棟 13 対 1 入院基本料）急性期として報告しています。</p> <p>・療養病床 79 床については、東日本大震災等の影響により建築工事が遅れておりますが将来的には、地域の高齢化や人口減少等による患者様の増加を見込んでおりますので建築工事終了次第、回復期の療養病床として、稼働させたいと思っております。</p>				
平均在院日数 一般：21.4 日		病床利用率 一般：66.7%		
診療科 合計 7 科（内科、呼吸器内科、消化器内科、血液内科、循環器内科、リハビリテーション科、精神科）				
主な紹介元医療機関	八戸市民病院	八戸赤十字病院	青森労災病院	
主な紹介先医療機関	八戸市民病院	八戸赤十字病院	リハビリパーク	



## 病院プロフィールシート

<b>当病院の現状</b> (認定・指定の状況、主な患者像、地域の役割等)	当院は内科、精神科があり外来診察、入院診療に対応しています。 地域に密着した医療と介護の融合を目指し、在宅や介護施設、病院からの患者を受け入れ、ご本人、ご家族様の希望に沿い、地域にねぎした支援に力を入れております。	
<b>当病院の未来像</b> (病床機能・病床数の見込み、施設への転換見込み、院舎建て替えの見込み、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在一般病棟 60 床を稼働させております。</li> <li>・建築中の療養病床 79 床に関しましては回復期の医療需要の増加見込みを踏まえ、建築工事が終わり次第、回復期の療養病床として稼働してゆきたいと思っております。</li> </ul>	
<b>在宅医療への取組状況</b> (現状及び今後の展望)	退院支援	専任の看護師と社会福祉士などが連携しご家庭の希望に沿った退院計画を立て、退院支援に取り組んでいます。
	訪問診療	現状訪問診療は行っておりませんが、将来的には必要に応じて対応していくように思っております。
	後方支援	地域の介護施設、クリニック等において患者様の症状が急変に入院以来があった場合は積極的に受け入れております。
	看取り	患者様の家族の求めに応じて、積極的に対応するように致しております。

# 病院プロフィールシート

病院名	八戸平和病院			
病床数				
平成 30 年度 病床機能報告 ( H30.7.1 現在)	一般病床(A)		療養病床(B)	合計病床数 (A+B=a+b+c+d+e+f)
	1 2 1			1 2 1
	高度急性期(a)	急性期(b)	回復期(c)	慢性期(d)
	1 2 1			
	休棟中 (今後再開予定) (e)		休棟中 (今後廃止予定) (f)	
将来 ( H37.7.1 将来)	一般病床(G)		療養病床(H)	合計病床数 (G+H=g+h+i+j+k+l+m)
	1 2 1			1 2 1
	高度急性期(g)	急性期(h)	回復期(i)	慢性期(j)
	1 2 1			
	休棟予定 (k)	廃止予定 (l)	介護保険施設等へ (m)	
<p>(病床機能報告の内容の考え方について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当院は、現在、3病棟（いずれも一般病棟7対1入院基本料）全てを急性期として報告しています。</li> <li>・おおよそ月120件の手術（内 全身麻酔の手術は月40件程度）を実施しています。</li> <li>・救急告知病院として、月10件程度、救急車を受入れておりますが、二次輪番制には参加しておりません。</li> <li>・将来的には、周辺の高齢者施設の利用者の急変時、また、さらなる医師の確保をし、地域に根ざした病院として、急性期医療を継続して行く予定です。</li> </ul>				
平均在院日数 一般： 10.1日		病床利用率 一般： 50.1%		
診療科 合計9科（整形外科、外科、消化器内科、循環器内科、泌尿器科、眼科、内科、麻酔科、総診科				
主な紹介元医療機関	八戸市立市民病院	八戸赤十字病院	中野眼科医院	
主な紹介先医療機関	八戸市立市民病院	青森労災病院	八戸赤十字病院	

## 病院プロフィールシート

<b>当病院の現状</b> (認定・指定の状況、主な患者像、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当院は、泌尿器科の結石・癌手術、整形外科の股関節・膝関節手術、眼科の白内障・硝子体手術、外科の消化器疾患・癌手術・化学療法、透析施設を持つことから透析患者急変時の対応、麻酔科ペインクリニックの癌性疼痛はもとより、带状疱疹後疼痛などの緩和医療、疼痛コントロールに対応しております。</li> <li>・老健施設を併設、グループホームなどをグループとして併せ持つため、在宅(居宅)や介護施設からの肺炎、脳梗塞患者も受入れ、地域に密着した幅広い医療を提供しています。</li> <li>・地域密着の身近な病院を目指し、開業の先生方との病診連携、当院の診療科の枠を超えた診療科やより高度な医療機能を有する病院との病診連携にも力を入れています。</li> </ul>	
<b>当病院の未来像</b> (病床機能・病床数の見込み、施設への転換見込み、院舎建て替えの見込み、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、病床機能報告では、病床の医療機能を全て急性期として報告しています。ここ数年、病床利用率の落ち込みが顕著ではありますが、医師の増員確保によるさらなる診療科の充実と専門性の進展、周辺地域の高齢者介護施設等の利用者の急変時への対応など、地域に根ざした病院として、急性期医療を継続して行く予定です。</li> <li>・現時点での病床規模の見直しは考えておりません。</li> </ul>	
<b>在宅医療への取組状況</b> (現状及び今後の展望)	退院支援	社会福祉士と病棟看護師、医師やリハビリなどが連携し、患者本人・ご家族の希望に添った退院計画を立て、的確な退院支援に取り組んでいます。
	訪問診療	現在、訪問診療は行っておりませんが、近隣の訪問看護施設や在宅医療を行うクリニックと連携をしています。
	後方支援	併設する施設を利用する患者はもとより、地域のクリニックが担当する患者の病状が急変した際に、必要な受入を行っています。在宅当番を月2回行っています。
	看取り	現在行っておりません。

# 病院プロフィールシート

病院名	医療法人正恵会石田温泉病院			
病床数				
平成 30 年度 病床機能報告 (H30.7.1 現在)	一般病床(A)		療養病床(B)	合計病床数 (A+B=a+b+c+d+e+f)
			60	60
	高度急性期(a)	急性期(b)	回復期(c)	慢性期(d)
				60
	休棟中 (今後再開予定) (e)		休棟中 (今後廃止予定) (f)	
↓				
将来 (H37.7.1 現在)	一般病床(G)		療養病床(H)	合計病床数 (G+H=g+h+i+j+k+l+m)
			60	
	高度急性期(g)	急性期(h)	回復期(i)	慢性期(j)
				10
	休棟予定 (k)	廃止予定 (l)	介護保険施設等へ (m)	
			50	
(病床機能報告の内容の考え方について)				
・当院は、現在1病棟60床すべてを慢性期として報告しています。 医療保険10床：療養病棟入院基本料1 介護保険50床：介護療養型医療施設（療養機能強化型A）				
平均在院日数 一般：			病床利用率 一般： 療養：97.6%	
診療科 合計 7科（内科,胃腸内科,循環器内科,神経科,小児科,放射線科,リハビリテーション科）				
主な紹介元医療機関	おいらせ病院	八戸西病院	八戸赤十字病院	
主な紹介先医療機関	おいらせ病院	八戸赤十字病院	八戸市民病院	

## 病院プロフィールシート

<b>当病院の現状</b> (認定・指定の状況、主な患者像、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の市町村の医療依存度が高い、重度の要介護者を多く受け入れています。</li> <li>・外来部門での訪問診療、訪問看護を実施していますが、ご家族の介護力が不足している患者さんも多く、地域の介護サービス事業所との連携により在宅復帰を進めています。</li> </ul>	
<b>当病院の未来像</b> (病床機能・病床数の見込み、施設への転換見込み、院舎建て替えの見込み、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、病床機能報告では、病床の医療機能をすべて慢性期として報告しています。介護療養病床については、平成 35 年度末廃止を受けて、来年度中には介護医療院への転換を計画しています。</li> <li>・医療の必要な要介護高齢者の長期療養・生活施設として位置付けられた介護医療院へ転換し、療養上の管理、介護、機能訓練、日常生活上のサービスを充実させていきます。</li> </ul>	
<b>在宅医療への取組状況</b> (現状及び今後の展望)	退院支援	病棟職員が、ご家族の希望に沿った退院計画を立て、地域の居宅介護支援事業所と連携し、的確な退院支援に取り組んでいます。
	訪問診療	主においらせ町内の有料老人ホームや自宅にいる患者さんに対して訪問診療を行っています。
	後方支援	近隣のクリニックからの依頼があれば、受け入れるようにしています。
	看取り	患者の求めに応じ、対応していきたいと考えています。

# 病院プロフィールシート

病院名	社会医療法人 博進会 南部病院			
病床数				
平成 30 年度 病床機能報告 (H30. 7. 1 現在)	一般病床(A)		療養病床(B)	合計病床数 (A+B=a+b+c+d+e+f)
	60 床			60 床
	高度急性期(a)	急性期(b)	回復期(c)	慢性期(d)
		60 床		
	休棟中 (今後再開予定) (e)		休棟中 (今後廃止予定) (f)	
↓				
将来 (H37. 7. 1 現在)	一般病床(G)		療養病床(H)	合計病床数 (G+H=g+h+i+j+k+l+m)
	60 床			60 床
	高度急性期(g)	急性期(h)	回復期(i)	慢性期(j)
		60 床		
	休棟予定 (k)	廃止予定 (l)	介護保険施設等へ (m)	
<p>(病床機能報告の内容の考え方について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当院は、60 床 1 病棟の内、40 床を一般病棟 10 対 1(入院基本料 5)、20 床を地域包括ケア入院管理基本料 1 で届け出しています。</li> <li>・整形疾患を中心として、月平均の手術件数は約 50 件で、内全身麻酔約 15 件を実施しています。</li> <li>・救急告示病院として地域の救急医療を担っており、時間外救急患者の受け入れ件数は H29 年度は 1440 件です。</li> </ul>				
平均在院日数 一般 : 18.5 日		病床利用率 一般 : 91.7%		
診療科 合計 6 科 ( 内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、眼科、麻酔科 )				
主な紹介元医療機関	ナンブクリニック	八戸赤十字病院	八戸市立市民病院	
主な紹介先医療機関	八戸市立市民病院	八戸赤十字病院	青森労災病院	

## 病院プロフィールシート

<b>当病院の現状</b> (認定・指定の状況、主な患者像、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当院は、整形疾患に罹患した患者さんの入院が多く、骨折や関節置換術などの手術に対応しています。</li> <li>・三戸地域に常勤の外科・整形外科医が不在であるため、近隣開業医の紹介を含めて、外傷の患者対応をしています。地域では病病・病診連携を深め、紹介・逆紹介を行っています。</li> <li>・H30.4月から在宅療養支援病院として届出を行い、訪問看護を実施し及び介護施設の協力病院として 入所者の健康管理や急変時の対応を行っています。</li> </ul>	
<b>当病院の未来像</b> (病床機能・病床数の見込み、施設への転換見込み、院舎建て替えの見込み、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在 60床1病棟の内、40床を一般病棟10対1(入院基本料5)、20床を地域包括ケア入院管理基本料1で届け出しています。</li> <li>・以前は68床1病棟でしたが、1病棟の基準が60床となっているとの厚生局の指摘があり、平成28年に60床に減床しました。その後病床は高い水準で稼働しており、救急患者の依頼の際、満床で受け入れられないことがあります。そのため、病床規模の変更は考えていません。</li> </ul>	
<b>在宅医療への取組状況</b> (現状及び今後の展望)	退院支援	専任の社会福祉士・看護師などが連携し、患者及び家族の希望に添った退院計画・退院支援に取り組んでいます。
	訪問診療	南部町・三戸町・新郷村の患者に対して、訪問診療を行っています。
	後方支援	当院が訪問診療を行っている患者の他に、地域のクリニックが担当する患者の病状が急変した際にも、必要な受け入れを行っています。
	看取り	患者・家族の希望に応じて、自宅や有料老人ホーム等での看取りに対応しています。

# 病院プロフィールシート

病院名	内科種市病院			
病床数				
平成 30 年度 病床機能報告 (H30. 7. 1 現在)	一般病床(A)		療養病床(B)	合計病床数 (A+B=a+b+c+d+e+f)
			42 床	42 床
	高度急性期(a)	急性期(b)	回復期(c)	慢性期(d)
				42 床
	休棟中 (今後再開予定) (e)		休棟中 (今後廃止予定) (f)	
↓				
将来 (H37. 7. 1 現在)	一般病床(G)		療養病床(H)	合計病床数 (G+H=g+h+i+j+k+l+m)
			42 床	42 床
	高度急性期(g)	急性期(h)	回復期(i)	慢性期(j)
				42 床
	休棟予定 (k)	廃止予定 (l)	介護保険施設等へ (m)	
<p>(病床機能報告の内容の考え方について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当院は現在、1 病棟すべてを医療型療養病床 (入院基本料 2) として報告しています。</li> <li>・おおよそ月 2 件程度、急性期病院から転院の受け入れを行っております。</li> <li>・今後、人員の拡充、院内改装を図り、医療型療養病床 (入院基本料 1) への転換を予定しております。</li> </ul>				
平均在院日数 一般 :			病床利用率 一般 : 87.5%	
診療科 合計 2 科 (内科、消化器内科 )				
主な紹介元医療機関	八戸市民病院	八戸赤十字病院	八戸西病院	
主な紹介先医療機関	八戸市民病院	八戸赤十字病院	はちのへハートセンタークリニック	



## 病院プロフィールシート

<b>当病院の現状</b> (認定・指定の状況、主な患者像、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当院は、急性期病院で状態が落ち着いた患者さんを主に受け入れ、疾患内容としては脳梗塞後、パーキンソン病などの神経難病、嚥下障害から誤嚥性肺炎を繰り返している方の入院が多いです。</li> <li>・また、近隣の訪問診療を行っている先生で訪問診療が困難になったケース、また介護施設入所中で病状の悪化から対応が困難になった場合の入院も受け入れております。</li> <li>・地域の医療機関、特に急性期病院からの転院を受け入れることで急性期病院の負担の軽減に努め、急性期病院が本来の役割を果たせるように力を入れております。また、訪問診療を行っている医療機関、介護施設と協力しながら在宅診療のサポートを行っております。</li> </ul>	
<b>当病院の未来像</b> (病床機能・病床数の見込み、施設への転換見込み、院舎建て替えの見込み、地域の役割等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、医療型療養病床（入院基本料2）として報告しております。今後、人員の拡充を図り入院基本料1の基準を満たす方針です。</li> <li>・現在、病院の改装を進めております。患者さんの安心、安全のため耐震診断、スプリンクラー設置を含めた災害への対応、ハード面での院内感染予防対策、病室の個室化等を含めた療養環境の改善のために順次院内改装中です。</li> <li>・医師の拡充を図り、今後訪問診療にも力をいれていく予定です。</li> <li>・また、地域から信頼される病院を目指し5年をめどに病院機能評価機構から認定を受けるため院内に準備委員会を立ち上げております。</li> </ul>	
<b>在宅医療への取組状況</b> (現状及び今後の展望)	退院支援	当院の介護福祉士の資格を持つ看護師を中心に、ご家族、介護福祉士、障害者支援センター等関係各所と協力しながら退院支援に取り組んでおります。
	訪問診療	近隣地域、介護施設1名、居宅3名の患者に対して訪問診療を行っております。また、人員を拡充し、訪問診療に力をいれていく方針です。
	後方支援	地域の訪問診療をされている先生からの申し出を受け、対応可能な場合は入院を受け入れております。
	看取り	患家の求めに応じ、積極的に対応していきたいと思っております。